

甲府市小中学校PTA連合会企画調査委員会アンケート

1. 災害時及び緊急時の対応について、学校としてどのような対策（例えば、備蓄・連絡体制など）をしていますか。ご記入下さい。

■ 東ブロック（新紺屋小・甲運小・相川小・北東中・里垣小・東中・善誘館小・玉諸小）

- マメルメールの加入促進、活用。
- 食料備蓄あり。
 - ・里垣小のみ、備蓄なし。
 - ・甲運小備蓄庫の増築。
- 防災マニュアル等を活用した訓練を行っている。
 - ・マニュアルに基づき、児童の引渡訓練を行う。
 - ・緊急時対応を各家庭に配布している。
- 防災設備の定期点検を行っている。

■ 西ブロック（池田小・石田小・舞鶴小・新田小・南西中・貢川小・西中・富竹中）

- 各校、独自の危機管理マニュアルを作成、対応。
- 連絡体制は、児童・保護者用と教職員用に分けて、マメルメールと電話連絡網を作成し、活用している。
- 防災用備蓄品としては、水・カンパン（学校によっては、アルファ米等）・簡易寝袋をほとんどの学校が準備済み。
- 定期的に避難訓練を複数回実施している学校もあります。

■ 南ブロック（大国小・城南中・伊勢小・中道南小・国母小・南中・湯田小）

- 避難所設営時の学校としての対応マニュアルを作成している。
- 降雪時には、通学路の除雪・安全確保のため、PTAの協力をいただく体制作りがなされている。
- 地震や火災、その他緊急時の対応については、防災マニュアルを作成し、対応できるようにしている。
- 教員の連絡網の作成。
- マメルメールの活用。
- 国母小防災計画及び非常変災時の防災マニュアルに沿って対応する。
- 甲府市マメルメールにより、保護者及び職員に連絡する。
- 緊急時対応マニュアルを作成し、それぞれの災害に応じて組織として対応できるように確認している。
- 地震時の防災講話を含め、年3回の避難訓練を実施している。
- 緊急時のマニュアルとして、保護者引き渡し、引率集団下校、集団下校に場合分けをしており、その時点で通信手段がなくても家庭との連携がとれるようにしてある。

さらに、大雨等を想定した緊急下校訓練を実施し、事前の登録により職員の引率による集団下校をするグループと保護者が引き取るまで学校待機させるグループとに分かれて訓練する。
- 全校児童分のミネラルウォーターをPTA会費で備蓄している。

- 実際の災害時に生徒が学校に待機した方がよいと判断した場合の備蓄については、生徒一人あたり水は2リットル、乾パンが1缶用意されている。
- バザーの収益金で、児童分の非常食等（アルファ米・水・身体保温用防水シート）の備蓄をした。
- 備蓄については市と連携を取りながら整備を進める。
- 防災用食料（乾パン）飲料水をPTA特別会計より支出し確保している。
- 年度当初に生徒数・教員数の備蓄用食糧や保存水を購入し、3月の3.11集会「防災に関する講話」の中で配布することにより、防災への意識を高める対策をとっている。
- 本校では、災害時の備蓄として水とアルファ米を児童数分確保してある。

■ 南ブロック（笛南中・山城小・大里小・東小・中道北小・上条中）

- 毎年PTA予算で飲料水、乾パン等を購入して備蓄しており、賞味期限を確認しながら生徒へ返し補充をしている。
- 入学時に非常食1食分と飲料水2リットルを学年PTA予算で購入して備蓄し、卒業時に持ち帰らせている。
- 「災害時対応基準」を4月に配付し、地震発生及び注意予知情報等の内容により、学校留め置き、引き渡し等の対応を周知している。また、マモルメールや電話等の手段が使えない場合も想定して保護者の引き取りについて対応基準で定めている。
- 避難所開設時に、本校職員のうち学区内で真っ先に駆けつける体制をつくっている。同時進行で管理職等の参加体制もある。
- 定期的に避難訓練や予告無しの避難訓練を実施したり、防災教育の充実を図ったりすることにより、災害により引き起こされる危険を予測し、災害時には自ら危険を回避する行動がとれるようにしている。

■ 北ブロック（朝日小・羽黒小・付属中・千塚小・北新小・千代田小・北西中・付属小・北中）

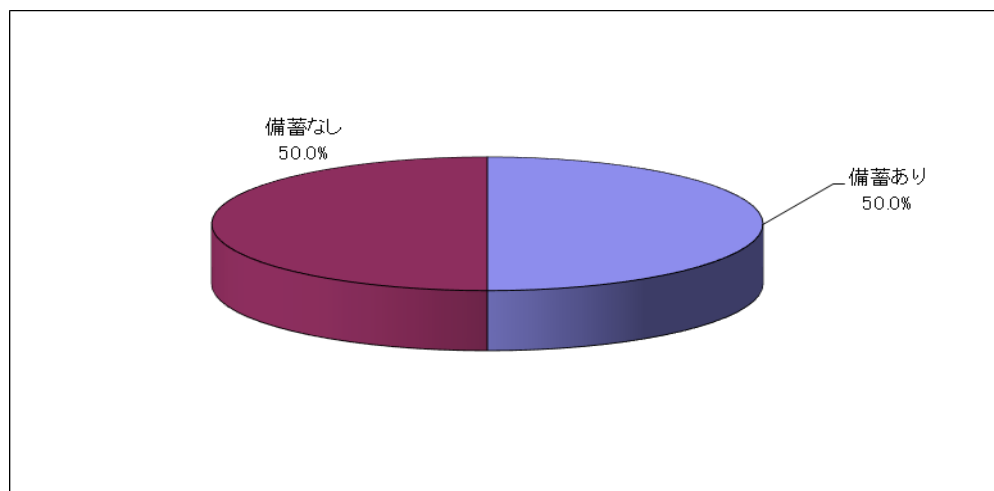
- 「マモルメール」での全家庭への連絡体制。
- 毎年度、安全防災活動計画を作成している。
- 全職員体制による防災対策委員会の設置。
- 自衛消防組織や災害対策本部・緊急校内システムの連絡体制の整備。
- 職員の対応についての共通理解を促し、月に一度安全点検を実施している。
- 防災教育・安全教育を実施し、生徒の安全な行動の習慣化・態度化を図っている。
- 「親子クリーンアクション」時、通学路の危険箇所について親子で確認している。
- より実効性のある避難訓練計画を実践し、見直し検討している。（予告なし訓練など）
- 臨場感のある避難訓練の実施。（起震車・煙体験）
- 複数回の避難訓練の実施により防災意識の高揚に努めている。
- 「緊急時登下校マニュアル」での危険レベルに応じた引き渡し体制の周知に努めている。
- 保護者への徹底（児童は、震度5弱以上で学校から帰さず、保護者の引き取りを待つ）
- 校舎の耐震性から教室で待機、引き渡しとすることを保護者に周知する。
- 各学級に「緊急時マニュアル」を保存し、活用している。

各学校独自の備蓄について

【東ブロック（新紺屋小・甲運小・相川小・北東中・里垣小・東中・善誘館小・玉諸小）】

○備蓄あり：4校

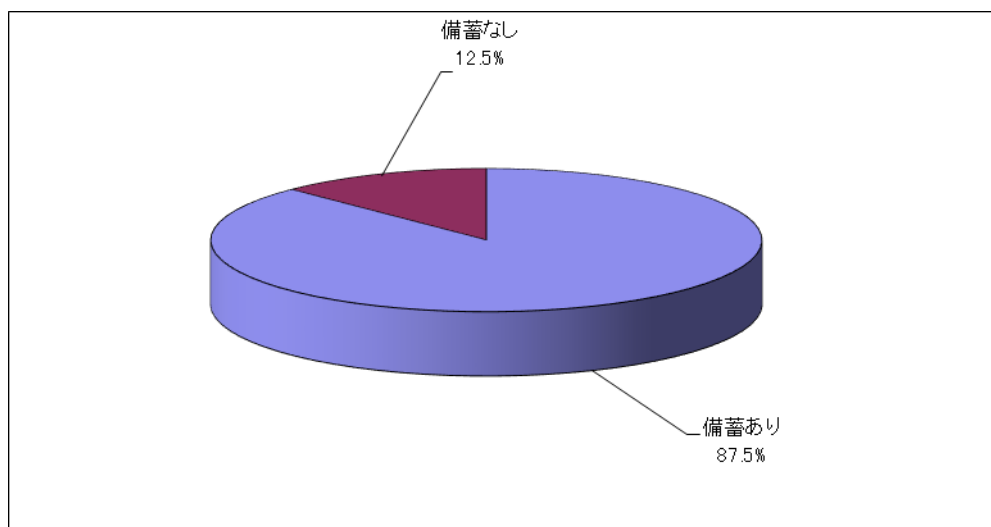
○備蓄なし：4校



【西ブロック（池田小・石田小・舞鶴小・新田小・南西中・貢川小・西中・富竹中）】

○備蓄あり：7校

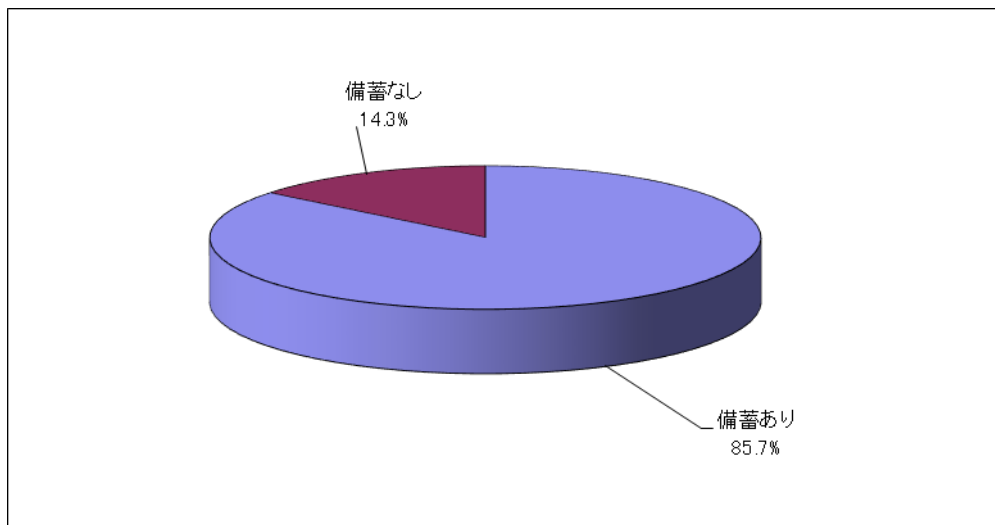
○備蓄なし：1校



【南ブロック（大國小・城南中・伊勢小・中道南小・国母小・南中・湯田小）】

○備蓄あり：6校

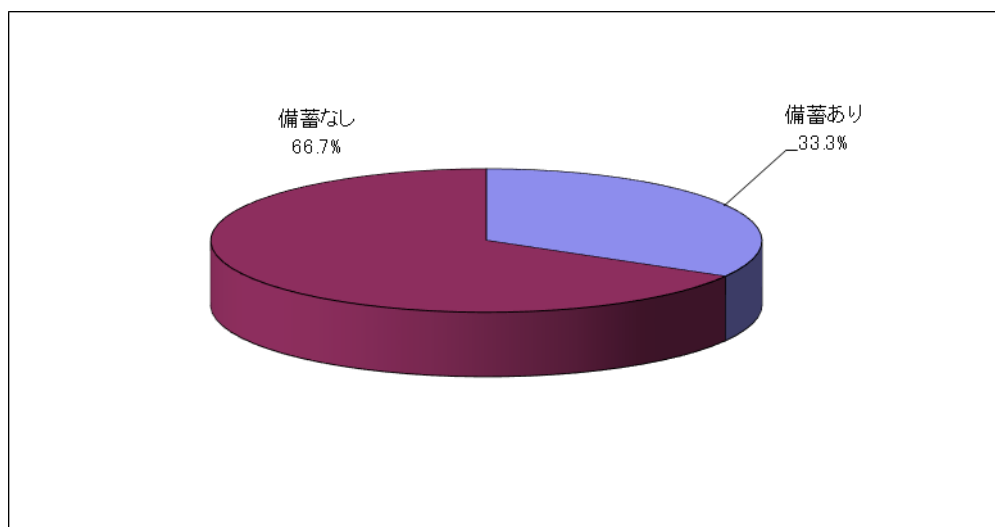
○備蓄なし：1校



【南ブロック（笹南中・山城小・大里小・東小・中道北小・上条中）】

○備蓄あり：2校

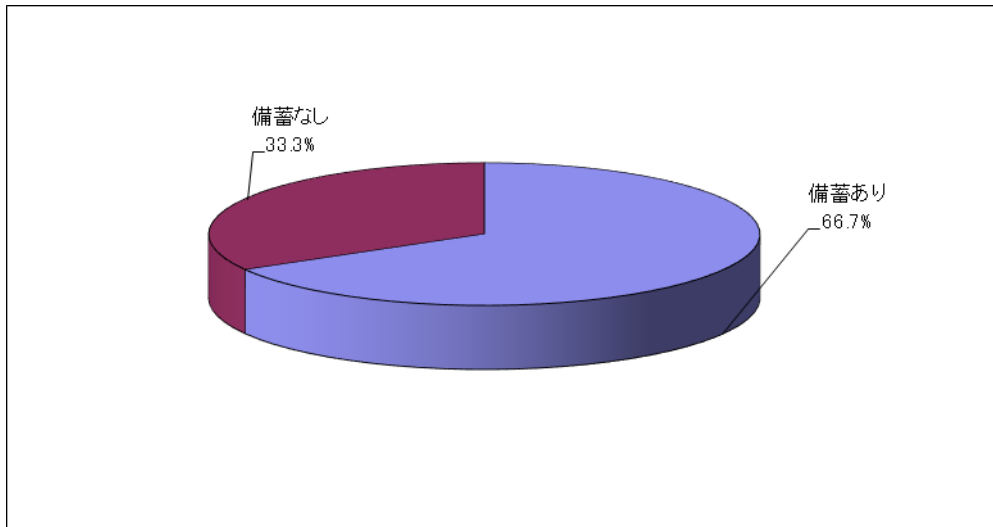
○備蓄なし：4校



【北ブロック（朝日小・羽黒小・付属中・千塚小・北新小・千代田小・北西中・付属小・北中）】

○備蓄あり：6校

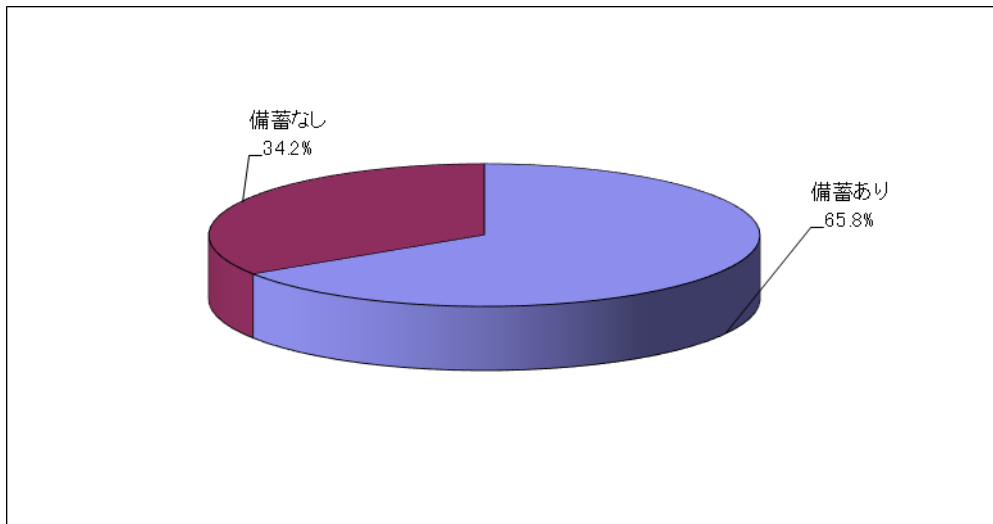
○備蓄なし：3校



【全体】

○備蓄あり：25校

○備蓄なし：13校



※ 備蓄品

非常用飲料水	水（ペットボトル500ml）
非常用食料	米・レトロトカレーライス・乾パン・クラッカー
用品	発電機・石油ストーブ・毛布・投光器・簡易トイレ など

※ 購入

PTA会費より賞味期限を見ながら順次買い替えをしている。

2. 学校と地域との連携はとれていますか。事例など含め、ご記入下さい。

■ 東ブロック（新紺屋小・甲運小・相川小・北東中・里垣小・東中・善誘館小・玉諸小）

- 全体的に連携がとれている。
- 自治会の防災訓練・会議に等に出席をしている。
- 避難所となる為、マニュアルを作成し、共通理解を図っている。
- 連携に課題があるが、地域・家庭と信頼関係を大切にしたい。
- 地域の方が登下校に付き添う、見守り隊がある。
- 自治会の力添えて学校正門道路が、スクールゾーンになった。

■ 西ブロック（池田小・石田小・舞鶴小・新田小・南西中・貢川小・西中・富竹中）

- 地域の自治会連合会を中心に交互に交流し、連携を深めている。
- 地域の防災訓練に教職員が参加し、交流を深める。
- 校内にある、地域の防災倉庫の用具点検時に学校も立ち会って確認する。
- 小・中と地区の役職者と年数回、会議を開催し、連携を深めている。
- 学校の授業に自治会長を講師に招き、生徒が地区にどのように関わっていけばよいか学ぶ時間を作っている。
- 地域の方と教職員・PTAが夜、地域のパトロールを実施している。
ただ、数校より、いざ災害があった時に誰が混乱を調整して住民の避難や避難所開設をスムーズに行うようなリーダーシップをとるのか、また非常時を想定しての協議をする事が必要ではないかと感じる。

■ 南ブロック（大國小・城南中・伊勢小・中道南小・国母小・南中・湯田小）

- 毎年、シェイクアウト訓練を含めた市の防災訓練への参加を、保護者・児童に呼びかけるとともに、職員も数名参加している。
- 地域については、炊き出し班や給水班など、ある程度役割分担は決定している。また、中学校における避難所の管理・運営について市の行政職員の担当者も決まっている。しかし行政担当者と学校側との避難所設営や管理、運営についての話し合いは行われていない。
- 市当局の地域連絡員（学校ごと）が選定され、緊急時には出動して対応する役割を担っている。
- 学校教育活動レベルの連携はとれている。（防災の視点ではこれから）
- 防災訓練を地区の消防団と連携して実施予定。
- 各自治会総会などへの参加
- 避難所・防災運営委員会への参加
- 毎年、初動体制職員の確認を行っている。
- 地域総合防災訓練に、管理職・防災対策職員・生徒会本部役員・地区生徒がそれぞれの該当地区に参集し、見学を含めた実地訓練に積極的に参加している。
- 地域の諸団体が開催する定期総会等への参加。

■ 南ブロック（笹南中・山城小・大里小・東小・中道北小・上条中）

- 総合防災訓練の時に自治会等の自主防災組織と避難所開設時の対応について確認ができたらしめていきたい。
- 夏の総合防災訓練の際に、自治会の防災倉庫の備品点検に、教頭が立ち会っている。○ 地域連絡員と学校の教育活動時間外で警報発令時には、どのように対応すべきかなどを確認している。
- スクールガード隊が、登下校の見回り、通学路の安全確認と安全対策、災害時の児童の引き渡しと手伝いを行っている。
- 消防団による避難訓練の手伝い及び十数台の消防自動車の放水訓練を通して児童に安全を意識化してくれている。
- 地域防災訓練に積極的に参加したり、打合せをすることにより、地域との連携を図っている。

■ 北ブロック（朝日小・羽黒小・付属中・千塚小・北新小・千代田小・北西中・付属小・北中）

- 災害時における登下校の措置については、各家庭に文書で通知、内容を周知している。
- 市の防災防犯メールマガジンに登録、情報をマメルメールで迅速に保護者に知らせる。
- 学校だよりなどにおいて地域防災訓練への積極的参加の呼びかけをしている。
- 自治会や地域連絡員と連携、協力し合っている。
- 地域における総合防災訓練に職員が参加をしている。
- 担当職員が地域防災会議に出席し、訓練情報等、関係各所の担当者と連絡を取り合っている。
- 災害時には、情報収集に努め、状況を素早く把握し、措置をとる為、地域とは連絡を密に取っている。
- 避難所の設営訓練を行った。
- 幼稚園・小中学校合同の引き渡し訓練を実施した。
- 災害時における地域との連携は取り合っていない。
- 登下校時、地域の見守り隊の方々が付き添い児童の安全確保に努めている。
- 週に一度、地域・消防署・市青色パトロール・学校職員による危険箇所の確認。
- 駐在所と連絡を取りながらの防犯訓練の実施。

3. 学校からPTAに望むことがありましたらご記入下さい。

■ 東ブロック（新紺屋小・甲運小・相川小・北東中・里垣小・東中・善誘館小・玉諸小）

- PTA会長を中心とした連携がとれている。学校への理解・協力体制が万全でありがたい。
- 緊急時の為に『緊急時対応マニュアル』を熟読、家庭で掲示して欲しい。
また、緊急時に「我が家だけなら」という考えを捨て、すべての児童の安全確保に協力して欲しい。
- 家庭で災害時の対応を話し合っしてほしい。
- 今後も協力して欲しい。
- 要望の動きなど、単Pとして進めず、市P連など組織として対応して頂きたい。
単Pと市Pが常に連動してきたい。

■ 西ブロック（池田小・石田小・舞鶴小・新田小・南西中・貢川小・西中・富竹中）

- 非常食の消費期限が切れた物等を、順次買い替えるように予算の協力をいただきたい。
- 例年の課題として、役員決めがある。どうしても不安があるため、積極的になれない面がある。システムや内容を改善して、どの保護者も気軽に参加できる、そんなPTA活動にしていけたらと考えている。
- 地域の防災訓練に、保護者にも率先して参加していただきたい。また、子ども達が避難訓練に関心を待たせる様に、保護者の後押しがあるとありがたい。
- 山梨県PTA協議会でも第1回PTA大会の際に「避難所HUG」の研修会を行ったが、市P連でも同様の研修会の開催を検討してほしい。
- マルメールの100%加入をおねがいしたい。

■ 南ブロック（大国小・城南中・伊勢小・中道南小・国母小・南中・湯田小）

- 備蓄として、ミネラルウォーターだけでなく、毛布等の防寒用品の備えをお願いしたい。
- 学校が避難所となった場合、PTAの方々にも積極的に支援 協力してほしい。
- 自治会の活動への積極的な参加を期待したい。
- 避難所開設等の研修を、年次計画で各地区の連合自治会等と連携して行ってもらいたい。
- 緊急時・災害時の対応を家庭ごと常に話し合っておくことが必要である。具体的な待ち合わせ場所や連絡の方法等、各家庭の決め事を作成する。
- 発令情報の内容を理解し、適切な行動がとれるようにしておくこと。
- 子どもたちのためにと意欲的・精力的にPTA活動へ参加をしていただいております、大変感謝している。

■ 南ブロック（笹南中・山城小・大里小・東小・中道北小・上条中）

- 災害の状況にもよるが学校再開のとき大掃除などをお願いしたい。
- 防災マップ上、複数の災害が起きうる地域なので、総合的な学習の時間や、避難訓練の際に家族による防災会議をしていただく機会を設定しているので、協力していただきたい。
- 災害発生時及び警報が出されたときに、引き取り対応に迅速に応じてもらいたい。また、保護者が来られない場合には、代理の方の迅速な対応をお願いしたい。

■ 北ブロック（朝日小・羽黒小・付属中・千塚小・北新小・千代田小・北西中・付属小・北中）

- 学校・家庭・地域が協力し、連携を深め、防災意識の向上を図りたい。
- 引き渡し訓練についての理解・運営への速やかな対応、協力をお願いしたい。
- 学校とPTAとが連携して子供達の安全確保に努めていきたい。
- 児童・職員用に非常用食料・飲料水を人数分備蓄する為の費用を予算化し、購入して欲しい。
- 学校への児童留め置きの為の備品（防寒用毛布・シート等）の購入を。
- 連絡体制としてのマメルメールでの全家庭（加入率100%）確立への協力。
- マメルメールなど普段から気を付けて目をとおす習慣を。
- 緊急時、家族との連絡方法や集合場所等について確認し、子供達に伝えておいて欲しい。
- 子供の登下校のコースを確認し、危険箇所の洗い出しをしてほしい。
- 普段より地域との結びつきが大切、家庭でも地域行事への参加の呼びかけを。
- きめ細やかな迅速な対応ができるよに協力を。

甲府市小中学校PTA連合会企画調査委員会アンケート

1. 災害時及び緊急時の対応について、親として、どういう対策をとり、何をしたらよいと思いますか。ご記入ください。

■ 東ブロック（新紺屋小・甲運小・相川小・北東中・里垣小・東中・善誘館小・玉諸小）

- 緊急時の対応・対策を日頃から家庭・地域で確認するべき。
 - ・避難場所・連絡先の確認。
 - ・防災備蓄を家庭でもするべき。
 - ・各家庭での地震対策。（家具など）

■ 西ブロック（池田小・石田小・舞鶴小・新田小・南西中・貢川小・西中・富竹中）

- 子どもが学校にいるときは、先生方に判断をお願いするしかありませんが下校時に地震が発生した場合は、学校(地区)より配布されている、ハザードマップ等を活用して安全な箇所に移動して待機するよう、家族で話し合いを実施しています。
- 家族間で避難場所の確認をとれるようにLINE等活用や緊急連絡先の確認。
- 地域の避難場所の確認。
- 避難場所へのルートの確認。
- 家庭における防災グッズの備蓄。
- 被災時は地域住民との助け合いが必要不可欠となるため、地域の行事等へ積極的に参加をする。

■ 南ブロック（大國小・城南中・伊勢小・中道南小・国母小・南中・湯田小）

- 避難場所の確認、緊急伝言ダイヤルの使い方の確認など、子どもとの約束ごとを決めておくこと。
- 子供達への「一時非難場所」の確認を定期的に行って、「意識付け」をしたい。
- 日頃から隣近所の方々と、防災について話し合っって支援について考える機会を定期的に設けることが、減災につながると思う。
- 親と一緒にいない時に災害が起きた場合、どうするべきか、どこに集合するか等を親子間で確認しておくことが必要だと思います。
- 災害時どこに集まるかきめておく。
- 非常持ち出し品の準備も大切な対策と考えます。特に飲料水1人1日3リットルを7日分は家族分として備えておく。
- ラインや災害伝言ダイヤルの活用
- 家族がバラバラの時は、直近の避難場所に避難。
- 学区外の外出は、事前に行先を、確認する
- 家の中の安全対策として、本棚、冷蔵庫、食器棚など家具の固定や配置を工夫し、転落、落下、移動を防止し、避難経路の確保対策と、家の外周辺の安全対策として、雨樋、排水溝が詰まっていないか、塀などひび割れなどないか危険があるか事前確認しておく。
- 家の中も危険のないような対策を予めとっておくべきだと思います。

- 簡易トイレの設置、居住空間の確保
- 自宅から離れた場所で災害が起こったら、無理に家に帰らずに安全な場所に身を寄せる
- 困ったことがあったら、近くの大人に助けを求める
- 地震などの災害時については、「自助」をしっかりと身に付けさせる必要があると思う。
- 小学校が作成している「緊急時登下校マニュアル」のポイント確認・徹底、災害時に身を守るポイントの確認・徹底、避難する際の合言葉「お・は・し・も」の徹底、などの対応が必要だと思う。

■ 南ブロック（笹南中・山城小・大里小・東小・中道北小・上条中）

- 家庭内での備蓄に日頃から気を使い、定期的に中身を入れ替えるなどしておく。
- 子供に自分の身を守る術を教える。（折に触れ話しをする。）
- 子供と日頃から避難所について話し合い、避難経路も確認しておく。
- 地区より配布されている資料（ハザードマップ等）の確認や、地区主催の防災訓練へ家族で参加する。
- 家族間での連絡方法（スマホアプリの使用法等）を確認しておく。
- スクールガード隊の皆様と連携をさらに図っていくことが必要だと考えます。
- 児童数が多いため授業中の避難等が地域住民の方々と重なることも考えられます。その際には、備蓄する飲料水や食料、防暑・防寒対策等、様々なことを考えて準備しておく必要があります。PTA予算だけではとてもその準備をすることは難しいと思いますので甲府市のご協力・ご指導をいただければと思います。
- 第一に我が子の元へいき、子どもの安全を確認するとともに、被災後は常に子供と一緒に行動し、自宅の様子、状況を確認し、避難場所に行くかどうか決める。

■ 北ブロック（朝日小・羽黒小・付属中・千塚小・北新小・千代田小・北西中・付属小・北中）

- 家族で災害時の決め事を共有できるように徹底する。
- 子供の安否・所在確認が容易にできる手段を構築する。
- 家族で危険箇所について話し合いをする。
- 子供と地域の避難ルート・避難場所の確認をしておく。
- 持ち出すもの確認をしておく。
- 迅速で確実な情報・連絡の為に「マモルメール」への加入と定期的な保守点検に努める。
- 緊急時の避難セット（飲料水・食料・医薬品等）を準備、中身等の点検補充をしておく。
- それぞれの地域で備蓄品や避難所運営などの検討が課題である。
- 防災訓練や安全講習会等に参加し、自分の身を守る行動の習得に努める。
- 日頃から地域とのコミュニケーションを大切にする。
- 災害時、子供の心のケアの為に、話を聞き、スキンシップを図り、心の安定維持に努める。

2. PTAとして何かできることがありましたらご記入下さい。

■ 東ブロック（新紺屋小・甲運小・相川小・北東中・里垣小・東中・善誘館小・玉諸小）

- PTA活動の講演会で災害・緊急時の対策を専門とする講師を招く予定。
- 緊急マニュアルを活用し、災害時の行動を身につける。
- 自治会と連携し、緊急時の協力体制を作る。
- 各家庭での災害時対応の確認を勧める。

■ 西ブロック（池田小・石田小・舞鶴小・新田小・南西中・貢川小・西中・富竹中）

- 地域、学校と連携し、生徒の安否確認を行い、一日でも早く通常の学校生活となるよう協力する。
- 校長先生や自治会の方々の指示を受けながら、協力できることがあれば、先に立って行動したい。
- 炊事や力仕事等の協力について、PTA 会員に依頼したり、役割分担したりする。
- 教職員と協力して、親同士のネットワークを活用して生徒の安否確認を行う。
- PTAの学年連絡網を活用し、児童の安否確認のため、保護者間の連絡網を構築する。

■ 南ブロック（笹南中・山城小・大里小・東小・中道北小・上条中）

- 避難所等の運営は自治会が中心となるが、実際に動くことができるのはPTA世代となるため、地域の防災訓練や避難所運営訓練には必ず参加するよう呼び掛ける。
- 災害時、地域と連携し、避難所等でパイプの役割を果たしていく。
- 現在、広い自治区の全エリアからPTA本会役員を選出し、緊急時に各地の情報を会長が収集できるようにと試みています。また、会長だけではなく担当（副会長・事務局次長）を置き、スクールガード隊を中心に青色パトロール隊、安協、消防団等各種の皆様との連携を積極的に話し合っていきたいと思ひます。
- 地域、隣近所への声かけ。特に1人である子どもや、子どもだけで行動しているのを見かけたら、すぐに声をかけ、避難所等の安全な場所まで誘導する。

■ 南ブロック（大國小・城南中・伊勢小・中道南小・国母小・南中・湯田小）

- 校外指導部と連携して事前に危険個所の把握をする。
- 自治連と連携して、子ども110番の方に、避難場所として協力してもらう。
- 有事の際の避難とか、救命方法などは日頃からの練習を含め「習慣」にしていけるように、学校側と連携をとりながら、子供達のために力になりたい。
- 学校で行われている避難訓練に地域の住民や自治会、消防団、保護者を交えての訓練。
- 通学路の危険箇所確認のため、災害図上訓練（DIG）の実施を通して、保護者と児童が一緒になっての取組。
- 学校、家庭、地域の連携を推進するための防災に係わる講演会の開催など。
- 飛散防止シートを貼ったり、簡易トイレ、非常食の準備など、行政に対して予算の検討をお願いしていくことだと思います。
- 日頃から地域の活動に積極的に関わっていくように声かけをしていくことも必要だと思います。
- 災害時、受け入れがスムーズにできるように協力する。
- 学校で災害が発生した際、地域の人が避難してきた場合の受入状況確認。
- 生徒がケガをした時の対応。
- 帰宅困難の生徒の手助け。
- 防災リーダーの研修を行う。
- 地域の一次避難場所となる小学校における避難所運営に積極的に参画していくことが求められる。
- 「共助」という部分では、PTA（保護者）だけでなく、高学年児童にも「共助」の一部を担ってもらいたいと考える。

■ 北ブロック（朝日小・羽黒小・付属中・千塚小・北新小・千代田小・北西中・付属小・北中）

- 日頃から学校・地域の方々と連携を取り、緊急時に協力し合える体制づくりを。
- 災害時の緊急体制の確立。
- 災害についての話し合いを学校・保護者・児童で行う事が重要である。
- 子供達の安全確保の為に通学路等、危険箇所の安全点検を実施する。
- 「マモルメール」の全家庭加入と定期的な保守点検の呼びかけに努める。
- 子供達が健康的に過ごせる為の備蓄品の充実に努める。
- 災害時に必要な防災備蓄品の寄付をする。
- 市に公費での児童・職員数の備蓄品の購入要望を。
- 防災マップの作成（危険箇所・避難場所など）
- 講演会や学習会を開催し、災害についての知識を習得する。

3. PTAから学校に望むことがありましたらご記入下さい。

■ 東ブロック (新紺屋小・甲運小・相川小・北東中・里垣小・東中・善誘館小・玉諸小)

- 全校集会などで災害時緊急対応への講習会開催。(全校生徒・保護者参加合同講習会) 子供たちの意識を高くし、災害マニュアル(マップ)との相乗効果を図って欲しい。
- 『自分の命』を守れるような防災教育を推進して欲しい。
- 防災・不審者情報などをいち早く配信して欲しい。

■ 西ブロック (池田小・石田小・舞鶴小・新田小・南西中・貢川小・西中・富竹中)

- 今でもそうですが、緊急時は本校でいう、マメルメールを従来通り活用して学校側と保護者が連携を取りスムーズな児童の引き渡しをして、先生達もいち早く家族のところに戻れるような対応ができればと思っております。
- 保護者等の問い合わせや教育委員会とのやりとり等で学校の電話がパンクするのではないかな。災害によっては、電子メールが使えるか否かについても疑問がある。
- 生徒が、災害時など対応できるよう、また避難訓練や様々なケースに対応できるよう、机上のシュミレーション訓練が必要だと思う。
- 災害時の学校側の行動マニュアル等があれば、情報を開示していただきたい。
- いわゆる「緊急時」に「不審者侵入」が当てはまるのか分からないが、不審者に対する訓練も必要。
- 通う学校の異なる子や要介護者等が複数いるような家庭を想定し、引き渡し方法等について、あらかじめ検討しておく必要があるのではないかな。

■ 南ブロック (大國小・城南中・伊勢小・中道南小・国母小・南中・湯田小)

- 親からの指導と、学校からの指導に違いがないよう、子どもたちが混乱しないように、学級懇談会などで話題に出して行って頂きたい。
- 個人メールの一斉送信も肝要ですが、日頃の発信を行うことで家庭でも「習慣」がつくと思います。折角HPの更新をしても見てもらわなければ意味がない。「更新通知メール」を希望いたします。
- 自然災害(地震、台風、大雨洪水、土砂崩れ等)についての最新の知識をいつも持っていることが大切であり、その知識をもとに想定された避難方法や対処方法を確認し、避難訓練を行うことが必要である。
- 在学中は教師の指示等で避難できるが放課後や登下校の時間帯での災害発生時は「自分の命は自分で守る」ことを原則に、一人でも安全な場所への避難行動ができるように、普段からの防災教育が子どもの命を守ることに繋がると思います。
- 定期的に避難方法を学習し、危機管理を持たせて欲しい。
- 危険箇所の把握、その際の行動について理解できるように指導して欲しい。
- 中学生なので、災害時、自宅へ帰るかの判断を本人に任せて欲しい。
- 非常事態の時は、連絡が取れない為、記録を残して欲しい。(〇時〇分、同方面の△△と下校) など
- 他県の大災害について、学習する。
- 休日の災害時には、学校開放を早急に。
- 水、食料、毛布などの備蓄。

■ 南ブロック（笛南中・山城小・大里小・東小・中道北小・上条中）

- 引き渡し訓練等で、兄弟姉妹が小学校と中学校に在籍している場合、小中で連携を図り、実態に即した訓練となるよう工夫をお願いします。
- 子供たちへの災害知識、防災時の対応を随時指導していただきたい。
- 学校・保護者・自治区の皆さんと共にお話する機会はたくさんありますが、そこへ甲府市の学校担当の方々と一緒になって学校教育・地域教育について話し合う場を設けていただきたいと常日頃思います。そこに児童会の子供たちが加わってもいろいろな話が聞けるのではないかとも思います。
- 災害発生時、大きな揺れ等で子どもたちは動揺・恐怖を隠せず落ち着きを失ってしまうと思いますが、どうか先生方は気持ちを落ち着かせ、子どもたちを誘導し、避難訓練通りの対応をお願いしたいです。

■ 北ブロック（朝日小・羽黒小・付属中・千塚小・北新小・千代田小・北西中・付属小・北中）

- 子供達の安全の確保を第一に考え、行動して欲しい。
- 緊急時の連絡体制の徹底を。
- 「マメルメール」での迅速で確実な情報、連絡が欲しい。
- 「マメルメール」以外の連絡伝達手段の検討を。
- 通学路の危険箇所の有無を確認して欲しい。
- 施設の防災対策（飛散防止フィルム・耐震化等）を。
- 応急手当の方法など親子で参加できる講習会・学習会の開催を。
- 地域との連携の要となって欲しい。